

(別居している場合)

記入例

生計同一関係に関する申立書

1 生計同一関係の開始日 ※①が障害年金受給権者である場合には記入 **婚姻日等を記入**

(昭和・平成 _____年 _____月 _____日・頃)

2 別世帯になっている理由

※①と②は同居しているが別世帯となっている場合には記入

3 同居についての申立 (別居していることの理由)

※①と②の住民票上の住所が異なる場合には記入

別居している理由をご記入ください

4 経済的援助についての申立 ※①と②が別居の場合には記入

㊦ ①から②に対する経済的援助の有無 (あり・なし)

㊧ 上記㊦で「あり」の場合にはその回数 (年・月 約 _____ 回程度)

㊨ 経済的援助の内容

月 円生活費として送金している等、経済的援助の内容をご記入ください

経済的援助は金銭に限定されません。日用品や食品の援助があれば、それについても記入してください。

5 定期的な音信・訪問についての申立 ※①と②が別居の場合には記入

㊦ 音信の手段 (電話・メール)

㊧ 訪問回数 (年・月・週 約 _____ 回程度)

㊨ 音信・訪問の内容

月に 回会っている、週に 回電話で連絡している等具体的にご記入ください。

6 生計同一関係にあることの申立

平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日

私は、下記②の者と、生計を同じくしております。

① 受給権者の住所、氏名

住所 _____

氏名 _____ ㊩ ※本人自署の場合には押印省略可能

② 受給権者の配偶者または子の住所、氏名

住所 _____

氏名 _____ (①との続柄: _____)

氏名 _____ (①との続柄: _____)

氏名 _____ (①との続柄: _____)

7 第三者による証明欄

平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日

上記 ① ~ ⑥ の事実に相違ないことを証明します。

また、私は上記①及び②の者の民法上の三親等内の親族ではありません。

住所 _____

氏名 _____ ㊩ ※本人自署の場合には押印省略可能

証明資料が添付できない場合は記入してもらいましょう

日本年金機構理事長 殿